



●天津 押出製品のローカルメーカーへの拡販強化

●上海 板圧延製品の拡販強化

●紹興 板圧延製品の生産能力の増強と生産品種拡大

●バンコク 板圧延製品のスリット事業進出

●ホーチミン 鋳物製品の生産体制強化

●スラバヤ 押出製品の生産品種拡大のための設備増強

燃費向上と安全・快適性の両立を実現するアルミニウム製品を増産しています。

車体の軽量化と強度を支えるアルミニウム製品

アルミニウムは、比重が鉄の約1/3と軽く、単位重量あたりの強度は一般鋼の約2倍と優れています。この「軽くて強い」という特性に加え、さまざまな形状に容易に加工できる「加工性」や、錆が生じにくい「耐食性」、効率よく放熱できる「熱伝導性」、再生が容易な「リサイクル性」などにも優れています。

このような特性を持つアルミニウムを自動車のラジエーターやエアコンなどの熱交換器部品、エンジン、トランスミッション、ボディ、フレームなどに使用すれば、安全・快適性を保ったまま車体を軽量化し、燃費向上と省エネルギーを実現できます。

当社グループは、アルミニウム製品の安定供給を通じて、自動車の生産・普及が拡大するアジアの経済成長とサステナブルな社会づくりに貢献していきたいと考えています。

各拠点で生産能力を増強し、生産品種を拡大

当社は、2010年に3ヶ年の中期経営計画を策定し、その中で「アジアでの生産設備増強」を掲げ、それを通じてアジアの自動車産業の成長に貢献していくことをめざしています。

インドネシアでは、プレスラインを増設し、自動車熱交換器用の押出部品の生産能力の増強と生産品種の拡大を進めています。ベトナムでは、アルミニウム精密鋳物部品として、ディーゼル車およびガソリン車に搭載されるターボチャージャー用のコンプレッサホイールを製造しており、世界トップシェアを獲得しました。今後もさらなる生産能力の増強をめざします。中国では、自動車熱交換器用の押出部品を天津で、板材を広東省韶関で製造し、生産設備を強化して需要拡大に対応しています。2010年には、タイにコイルセンターを新設。日本国内工場と中国の板圧延合弁会社の素条のスリット加工（アルミニウム板を幅切断し、巻物状に巻き取る加工）を始めました。今後は、タイで加工した製品とインドネシアの押出製品を、コンデンサ製造用にまとめて販売するなど、お客様の利便性を図っていきます。

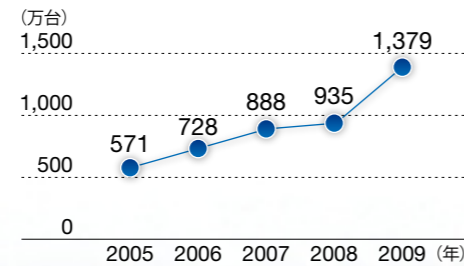
このように強化した体制のもとで、中国、東南アジアなどへアルミニウム製品を供給しています。

特集

成長するアジアの自動車産業に対して 高品質なアルミニウム製品を安定供給するために

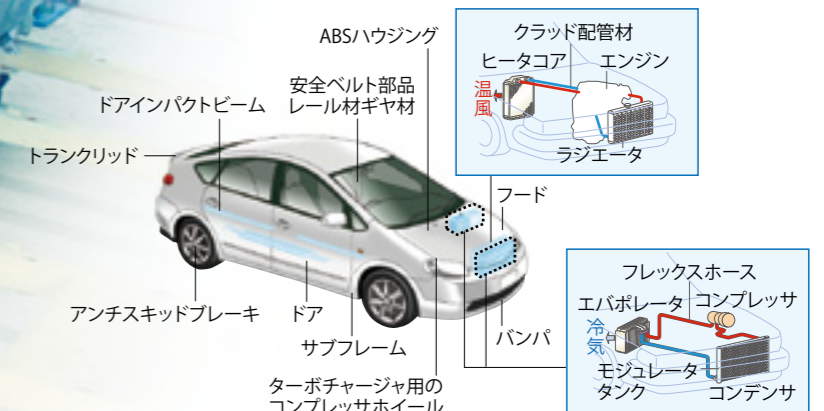
古河スカイグループは、自動車の増産が進む中国をはじめとしたアジア各国において、品質と安全を徹底した生産拠点を拡充。車体の軽量化に貢献するアルミニウム製品を供給することで燃費向上によるCO₂排出量削減を図り、地球温暖化防止に寄与していきます。

中国の自動車生産台数推移



出典：各国の自動車関連団体統計

自動車におけるアルミニウムの適用例



拡充した生産拠点で、品質向上と労働安全を徹底しています。

品質レベルを維持・向上させる技術講習会を開催

アジアにおいてアルミニウム製品を生産する場合にも、日本国内で供給している製品と同等の品質を追求しています。当社では、インドネシア、ベトナム、タイ、中国の現地で採用した従業員に対して、日本で培ってきた技術ノウハウを直接伝授し、日本と同等の品質維持に努めています。

また、現地従業員を対象とした研修を日本で開催しています。その一例として、2011年2月には福井工場、タイ工場(FSTH)に勤務する現地従業員を対象とした研修を行いました。スリット作業の研修に参加した現地従業員に、現場で機械の動かし方や、品質チェックの方法、安全確保の方法などを指導しました。最後に、現地従業員が研修内容をレポート形式でまとめ、それを日本人指導者が検証することで成果を確認しました。

こうした指導・研修は、現地従業員の就労能力・意欲の向上にも役立っており、今後も雇用維持に貢献していきます。



現地従業員の業務の様子

労働安全マニュアルを用いた安全教育を実施

当社は、現地従業員の労働安全にも力を注いでいます。当社の安全理念に基づき、海外の生産拠点でもアルミニウム製品の製造における安全性を確保するために、作業マニュアルを作成し、従業員への教育を実施しています。

中国・天津(FSAT)の工場では、保護具の扱い方の決まりや、警告マーク、作業中の合図の仕方などを説明した現地語の労働安全マニュアルを配布。現地従業員の入社時の教育に使用し、従業員が内容を理解し、実践できるまで繰り返し指導しています。また、毎月安全委員会を開催し、現場の視察も実施。例えば、視察で安全確認の仕方が不十分と指摘があった時は、その場で正しい方法を指導しています。

このような取り組みを通じて、従業員の安全確保を徹底しています。



中国語の安全マニュアル



CLOSE UP

2004年からQC (Quality Control) 発表会を開催し
海外工場を含む全社で品質向上活動を共有

QC発表会は、当社設立の翌年にあたる2004年度から全社QC大会としてスタートしました。2010年10月に本社で開催した「第7回古河スカイ全社QCサークル発表会」には約100名が参加し、ベトナム(FSV)、中国・天津(FSAT)、インドネシア(FIA)を含む国内外11工場が発表を行いました。



海外工場からは現地従業員が参加し、FSVは「コンプレックスホイールの

加工不良の改善」、FSATは「MF (Multi-hole Flat) チューブ材の歩留り向上」、FIAは「MF材の切断歩留り向上」をテーマに、活動の経緯と結果を発表しました。

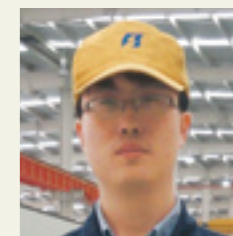
QC発表会への参加で、従業員と指導者の意識を高めるとともに、国内工場との交流によって海外工場の品質管理ノウハウのレベルアップをめざしています。今後は、品質の改善事例の発表に特化し、各工場における日常のQCサークル活動をより充実させていきます。

現地従業員の声

QC発表会という大きな経験を活かしてがんばります。

中国・天津(FSAT) QCサークルの一員として、今回、日本のQC発表会に参加させていただき感謝申し上げます。発表会は勉強のいいチャンスであり、選ばれたことを大変嬉しく思いました。

発表会の前に見学した小山工場では、押出の知識を深めるとともに、整頓された工務の予備品置き場に大変感動しました。発表当日は、全工場から集まった参加者の前で緊張しましたが、「チューブ材の不良低減による歩留り向上」をテーマとしたQC発表を通して、天津拠点の日頃のがんばりを伝えられたと思います。今回の大きな経験を活かして、日本の先輩工場に追いつき追い越せるようにがんばっていきます。



中国・天津(FSAT)
郑子辰

日本でのQC発表が私の仕事の原動力になっています。

7年前、私はベトナムのVCW工場の代表として「第1回古河スカイ全社QCサークル発表会」に参加しました。当時、広い会場で唯一の女性参加者だった私は、自分が小さく感じられましたが、「ブローホール不良(部品の強度低下を引き起こす不良)の低減」について一生懸命に発表し、貴重な経験をすることができました。発表後にいただいた拍手は、今でも日々の仕事の原動力になっています。

QC発表会は、資料作成や発表方法など、海外の従業員が数多くのことを勉強できるチャンスだと思います。貴重な成長の機会をいただき、誠にありがとうございました。



ベトナム(FSV)
Đỗ Thị Hồng Anh